

科目分類	看護専門科目（救急・災害看護学）	開講時期	1・2年	後期		
研究キーワード	救急外来・トリアージ・原子力災害					
科目名	救急・災害看護学演習					
英文	Seminar of Emergency Disaster Nursing					
選択／必修	選択	単位数（時間数）	2単位	30時間	授業形態	演習
担当教員	高原 美樹子・杉浦 良啓・河合 正成・池原 弘展・山崎 加代子					
メールアドレス	m-takahara@tsuruga-nu.ac.jp（高原） y-sugiura@tsuruga-nu.ac.jp（杉浦） m-kawaai@tsuruga-nu.ac.jp（河合） h-ikehara@tsuruga-nu.ac.jp（池原） yamazaki@fpu.ac.jp（山崎）	オフィスアワー	授業前後に対応します。			

授業目的	救急看護学、クリティカル看護学、災害看護学の各特論で学習した内容を受けて、実践的内容を取り入れた演習を通して救急・災害看護を身に付ける。
授業概要	<p>救急患者の初療時のアプローチ、主要症状から緊急度、重症度を判断して診断に至る医療の在り方、看護師が果たす役割について学ぶ。また、クリティカルな患者の病態把握、危機状態にある患者・家族の支援の在り方について学ぶ。</p> <p>災害時のトリアージについては、模擬患者を用い、実践に近い形の学びができるよう工夫する。避難所における支援の在り方について、図上訓練などリアリティーを持った演習を取り入れる。また、地域や施設の防災訓練などにも積極的に参加し、その必要性や課題について学ぶ。さらに、原子力防災の初期対応についても、知識・実践力を身につける。（養生・着替え、除染、被ばく評価など）</p>
授業計画	<p>第1・2回 救急外来でのトリアージ、初療時の患者へのアプローチの方法</p> <p>第3・4回 初療時のアプローチにおける看護師の役割(家族支援含む)</p> <p>第5・6回 クリティカル患者の病態把握</p> <p>第7・8回 クリティカル患者・家族の支援</p> <p>第9・10回 災害時のフィジカルアセスメント・トリアージ (OSCE 含む)</p> <p>第11・12回 災害を想定した図上訓練 (急性期～移行期)</p> <p>第13・14回 原子力災害時の初期対応(養生、除染など)</p> <p>第15回 まとめ</p>

教材 参考文献等	必要に応じて提示する
成績評価 基準・方法	プレゼンテーション 50%、課題レポート：50%
履修要件	救急・災害看護学分野の特論を履修していること。
関連科目	なし
留意事項 その他	なし